



# 福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会（略称：横浜市社協）



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集

## 私たちの できることから つながるまちへ

### ～広報紙配布で自治会活動を支える浦島共同作業所～



広報紙の折り込み・配布作業をする浦島共同作業所のメンバー  
(4月25日撮影)  
→詳しくは特集で

もくじ

- 福祉の仕事 障害のある人の仕事と生活を支える  
就労継続支援B型事業所 ..... p4
- ボラセン情報 障害理解の講座や研修に  
当事者講師を派遣しています ..... p5
- 市社協情報 よこはまの福祉保健研修情報サイト  
ハマ・キャリ・ネット ..... p6

福祉よこはま最新号と  
バックナンバー▶



福祉よこはま 検索

私たちの

# できることから つながるまちへ

～広報紙配布で自治会活動を支える浦島共同作業所～

浦島共同作業所の活動は  
新子安地区でのつながりづくりの  
きっかけになっています



困ったな～

こやすとおり  
子安通三丁目自治会(神奈川区)

## 広報紙の折り込み・配布を お願いできないだろうか

精神に障害のある人がまちで自分らしく暮らせるよう、1980年代から仕事を通じた支援に取り組む浦島共同作業所※1(以下、浦島)は23年前に今の場所に移転してきました。その後、周囲にマンションが建ち、人口・世帯数は年ごとに増え今では約2,000世帯になりました。自治会役員が行っていた広報紙の折り込み・配布作業は年々負担が大きくなったため、4年前に防災フェアや最寄りの駅前清掃で顔の見える関係ができていた浦島に相談しました。

相談

任せてください!

浦島共同作業所※1

## まちの人に 浦島のことを知ってもらえる

ぜひ引き受けたいと思った牧子紗也佳さん(浦島の管理者)はメンバー※2に相談しました。個人宅へのメール便配送をしてきたことから「広報紙の折り込み・配布ならできる」という声があがりました。広報紙配布を通じて浦島のことを地域の方にもっと知ってもらえるのではと期待がふくらみました。

※1 浦島共同作業所…4ページをご覧ください

※2 浦島共同作業所では、通所利用者をメンバーと呼んでいます

子安通三丁目自治会がある  
「新子安地区」はココ

つながり、支え合う、  
笑顔のまち 新子安

かながわ支え愛プラン(第4期神奈川区地域福祉保健計画)より



## “浦島さん”は地域の一員 本当に助かっています



子安通三丁目自治会会長  
いとう ひでたか  
伊東 英紀さん

### 浦島さんに お願いできてよかった

広報紙配布は月により種類や量が変わる手間のかかる作業です。以前は自治会役員が折り込み作業をして各地区の班長へ配布していました。“浦島さん”が仕事として快く受けてくださって本当に助かりました。私を含めて自治会の役員全員が「ありがとう」という気持ちでいっぱいです。



子安通三丁目自治会  
安全対策室長・自主防災会広報部長  
ますだ ともよ  
増田 智代さん

### 日増しに 頼もしい存在に

町内会役員の高齢化も進み、将来を見据えて折り込みや配布を依頼しました。この関係をずっと続けられるつながりが大切だと思っています。私たちは浦島共同作業所を“浦島さん”と呼んで、同じ地域の一員として親しくしています。いろいろな地域や団体に、この取組がもっと広がると良いと思っています。

## 浦島共同作業所

### 広報紙配布や駅前清掃から みんないい笑顔で戻ってきます

メンバーの思う  
“浦島”って

- 雰囲気が良いから 6年通っています。
- 浦島に来ることで「健康維持」「規則正しい生活」ができます。
- 浦島に来ると気分が和みます。仕事をやり終えると気持ちがいいです。



浦島共同作業所  
まきこ さやか  
管理者 牧子 紗也佳さん※3

### 「ありがとう」の声かけ、 「このまちに溶け込んでいる」と 言っていたら嬉しいです

地域との交流を大切にしたいと思っていたので、自治会からの仕事をいただけてとても嬉しかったです。精神障害は理解されにくい障害ですが、最近では“浦島さん”が広報紙配布をしている「駅前清掃してくれている」と知っていただき、作業中に「ありがとう」と声をかけられるのが嬉しいです。仕事を通じて地域の方とつながり、自分たちのことを知ってもらえることは作業所としてもやりがいになっています。

※3 牧子さんの仕事…4ページをご覧ください



浦島共同作業所  
いしくりょうま  
スタッフ 石倉 竜馬さん

ここで働いて5年になります。メンバーが作業に取り組む姿勢を見て私も頑張りたいと思っています。地域のみなさんにも仕事や活動をとおして、メンバー一人ひとりの人柄に触れていただきたいと思っています。

仕事をしたい障害者施設と仕事を依頼したい企業・団体のコーディネートをしています

「よこはま障害者共同受注総合センターわーくる」へご相談ください

横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター9階(障害者支援センター内)

問い合わせ ☎045-306-9910

詳しくは  
ホームページを  
ご覧ください



マスコットキャラクター  
「じゅチューくん」

相談は  
無料



## 障害のある人の仕事と生活を支える

就労継続支援B型事業所「浦島共同作業所」  
管理者・サービス管理責任者の

まきこ さやか  
**牧子 紗也佳さん** に聞きました

**きっかけ** 母がケアマネジャーだったことで社会福祉に興味を持ち、精神保健福祉士、社会福祉士をめざして福祉系大学に進みました。実習の場となったのが浦島共同作業所(以下、浦島)で、メンバーの人柄やお互いを思いあえる雰囲気に触れて「見習いたい、一緒に働きたい」と思いました。

**日々の仕事** 主な仕事はメンバーから相談を受け支援をしたり、日々の体調管理をサポートすることですが、それだけでなく運営全般や工賃\*につながる仕事の確保、弁当やクッキーづくりにも関わります。昼食は栄養面を考えた食事を楽しんでもらいたいとの思いから、弁当と同じメニューを提供しています。  
\*作業を行ったメンバーに支払われる対価

**心がけていること** 就労支援の場のためメンバーを注意する場面などありますが、その方の人柄を受け止め、尊厳を大事にすることや、丁寧な物言いが出来ているかどうかを立ち返るようにしています。わかりづらい障害である精神障害の辛さを極力理解しつつ、なるべくメンバーの立場になって考え、通うことが苦にならないように接しています。

**やりがい・よろこび** 人の成長や回復の過程に携わる仕事です。精神障害の症状について、少しずつ理解できる部分が増えたり、メンバーの優しさに元気をもらえたりします。休みがちだった方の通所回数が増えていき「牧子さんのおかげ」と言われた時は、働いていて良かったと思えました。

### 地域の方へ

仕事のご依頼は、地域や社会とつながりを持てる機会となり、とてもありがたいです。広報紙配布や清掃作業中に声をかけてもらえることも嬉しいです。今後も、仕事を通じて浦島を知っていただき、地域の一員としてみなさんとの出会いを大切にしたいと思います。

### 浦島共同作業所とは

**所在地** 神奈川県子安通三丁目

**運営** 特定非営利活動法人 あすなる会

日常生活の自立と経済的な自立を目指し、就労を軸とした支援を行う精神障害者のための作業所です。相談・就労・生活支援をはじめ、作業所自体が就労の場として活動をしています。

#### 作業内容

- 弁当・クッキーなどの販売や請負仕事
- 地域の催事参加
- 作業所周辺や駅前清掃
- 広報紙配布など



ミルクコーヒー、ジンジャー、紅茶、みそ、チーズ、ココアなど  
全17種類



▲ホームページ

### 福祉人材に関する情報

かながわ福祉  
人材センター



ホームページ▶

横浜市内の  
介護人材  
関連情報



ホームページ▶

広告

公益財団法人  
**横浜市シルバー人材センター**

**会員募集中!** **会員登録無料**

シニア世代の「働く・学ぶ・参加する」を支援します!



お仕事紹介

技能講習会

サークル・ボランティア

#### 入会条件

- ★横浜市内在住の概ね60歳以上の方
- ★お仕事・仲間作り・社会参加したい方

#### 会員登録の方法

- ★オンラインで登録(所要時間20分程度)
- ★来所して登録(所要時間60分程度)



〒233-0002

横浜シルバー

検索

横浜市港南区上大岡西1-6-1オフィスタワー13階

TEL : 045-847-1800



# 障害理解の講座や研修に

## 当事者講師を派遣しています

横浜市・区の社会福祉協議会は、地域みなさんと一緒に福祉について学ぶことで、誰もが暮らしやすい地域づくりをめざす「福祉教育」を推進しており、学校や地域、企業・団体みなさんから「障害理解」についての問い合わせや依頼を受けています。

横浜市ボランティアセンターでは障害のある方を講師として養成し、自らの体験をもとに障害当事者の想いや障害理解・合理的配慮について伝える「障害当事者講師派遣事業」を行っています。今回は令和5年度の取組について紹介します。

### 豊岡地区社会福祉協議会(鶴見区)

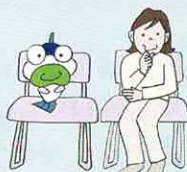
多様性について理解を深めるため、発達障害に関する講座を開きたいとの依頼から、発達障害のある講師を派遣

まずは専門職から鶴見区内の障害児者の状況や発達障害の特徴などを説明した後、当事者講師より日常感じている困りごとや、どのような配慮があれば暮らしやすいかについて講義しました。



気持ちや考えを察すること、空気を読むことが苦手…

言葉で伝えてほしい。決めつけず、ありのままをみて接してほしいです。



#### 参加者の感想



孫は発達障害があり、わからないことも多かったのですが勉強になりました。

当事者のお話を聞く機会はとても貴重でありがたかったです。発達障害という先入観ではなく、ご本人としてとらえていくことの大切さがより深く理解できました。



### 横浜市中川小学校(都筑区)

身体障害について学びたいとの依頼から、片麻痺・失語症のある講師を派遣し、福祉学習(4年生)を実施

失語症ですぐに言葉はできませんが、ちょっとした工夫をしてくれるとみんなと楽しくお話できます。

ちょっとした工夫とは？

- ゆっくり
- 短く
- 急がせない
- 待つ



日々の暮らしの工夫を実物や写真を見せながら説明したり、手作りの紙芝居を使用して講義を行いました。

自動販売機で飲み物を買ったけど開けられなくて困ったなあ

何かお困りですか？よければフタを開けるの、手伝いましょうか？



当事者講師が日常生活の中で感じている困りごとを演じ、どのように声をかけたらよいか考えました。

#### 参加した児童の感想



「障害」はまちの中にあることを知りました。障害のある人にとっても暮らしやすいまちにしようと思います。

まちで困っている人がいたら声をかけたいです。おもいやりが大切なことがわかりました。



### 横浜市ボランティアセンターより

「障害当事者講師派遣事業」に登録している講師は、身体障害(肢体不自由や言語障害の方など)、精神障害、発達障害、知的障害、内部障害のある方がおり、学校での福祉学習や地域での相互理解講座、企業の職員研修など依頼内容に沿った講師を派遣します。お気軽に問い合わせください。

この記事に関するお問い合わせ・「障害当事者講師派遣事業」についてはこちら  
横浜市ボランティアセンター ☎045-201-8620

ホームページ(福祉教育ページ)はこちら



リニューアル

## よこはまの福祉保健研修情報サイト ハマ・キャリ・ネット

ウィリング横浜は、福祉保健活動、仕事をしている方がスキルアップや利用者満足につながるサービス提供ができるよう、階層別研修や専門力を高める研修などを実施しています。よこはまの福祉保健研修情報サイト「ハマ・キャリ・ネット」から、ウィリング横浜と横浜市内のさまざまな機関が実施する研修情報を多角的に検索できます。



ホームページをぜひ、ご覧ください！



▲ホームページ



【問い合わせ先】

ウィリング横浜 人材開発担当 ☎045-847-6674

## 賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和6年1月18日～4月12日 新規受付・継続受付分

- 個人 ●中山 周二 様  
法人 ●株式会社 SHOW-YA Holdings 様

【問い合わせ先】

横浜市社会福祉協議会 総務部  
☎045-201-2096

賛助会員・  
賛助会費の  
ご案内



# みんなのきもち ありがとう

みなさまからの寄付は、地域の助けあい、  
支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



### ～寄付の取組紹介～

## 組合員と取り組む「スタディドライブ（文房具寄付活動）」（ユウコープかながわ県本部様）

ユウコープの組合員のみなさまとのネットワークを活かし、令和4年度よりスタディドライブ（文房具寄付活動）に取り組んでいます。

開始当初から多くの文房具が集まり、横浜市内の41の学習支援団体を通じて子ども達にお渡しすることができました。この取組は組合員のみなさまから好評であった一方で、「身近な地域の子ども達を支援したい」との声を多くいただきました。

令和5年度はその声を踏まえ、ユウコープの各店舗とその地域にある区社会福祉協議会が連携して取り組みました。集まった文房具は区社協が行う生活困窮者支援での活用や地域の学習支援団体へ寄贈し、より身近な地域の子ども達にお渡しすることができました。

ご協力くださったみなさま、本当にありがとうございました。



▲店舗での寄付活動の様子

### ユウコープからのコメント

スタディドライブは組合員からも大変興味関心が高い取り組みの一つです。「捨ててしまえばゴミになってしまう文具も、スタディドライブに寄付すれば必要とされる方に使っていただける」と、とても喜ばれており県内全域の組合員が協力し、沢山の文具が集まりました。寄付した組合員の感想を一部ご紹介します。

- 少しでも支援を必要としている方の力になれば嬉しいです。
- 家に眠っていた文房具が誰かの役に立ててうれしいです。
- ユウコープらしい活動で、とても良いので継続してやってほしいです。

令和6年度も引き続き、各店舗で取り組んでいく予定です。

横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています  
☎045-201-8620

## 寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和6年1月1日～3月31日受付分（受入順）

### 金銭寄付者

- （個人）  
●李 海霞 様  
（企業・団体）  
●横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様（3件）  
●独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター附属よこはま看護学校 様  
●ウェスティンホテル横浜 様  
●横浜幸銀信用組合 理事長 呉 龍夫 様  
●日清オイリオグループ 株式会社 様  
●汲沢電設 有限会社 様（3件）  
●株式会社 創健社 様  
●esSOLUTIONS 株式会社 様  
●一般社団法人 横浜シンフォニエッタ 様  
●株式会社 ベルク フォルテ 森永橋店 お客様一同 様  
●株式会社 ベルク フォルテ 横浜川和町店 お客様一同 様  
●株式会社 バリューハウス 様

- 生活協同組合 ユウコープ 様
  - ふれあいチャリティバザー実行委員会 様
  - 吟楽会 様
  - 横浜市社会福祉センター利用者一同 様
  - 株式会社 大宮ゴルフコース 代表取締役 甘糟 澄子 様
  - ブックオフコーポレーション 株式会社（キモチと。） 様
- （匿名寄付）（36件）

### 物品寄付者

- （企業・団体）  
●ロジスティード東日本 株式会社 南関東地区本部 様/まごころ基金 様  
●株式会社 ロフト 様  
●公益財団法人 神奈川芸術文化財団 様  
●横浜農業協同組合 様  
●横浜西ロータリークラブ 様  
●株式会社 高島屋 横浜店 様  
●株式会社 横浜スタジアム 様

- マラーウエズンフィルハーモニック東京オーケストラ 様
  - 横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様（2件）
  - エフエムジー&ミッション 株式会社 様
- （匿名寄付）（1件）

### ヨコハマ寄付本寄付者

- （個人）  
●粟飯原 智佳子 様  
（企業・団体）  
●横浜市北山田地区センター 様  
●フェリス女学院中学校・高等学校 様  
●東京ガス労働組合 生産支部 根岸連絡会 様（横浜市社会福祉協議会運営施設等）  
●横浜市社会福祉センター 利用者一同 様（3件）  
●老人福祉センター横浜市ユートピア青葉 横浜しもえぎ野地域ケアプラザ 様  
●横浜市西区社会福祉協議会 様

（匿名寄付）（42件）



### ヨコ寄付

ヨコ寄付は、「ヨコハマですぐヨコへ。」をコンセプトに、寄付金を活用し、既存の制度やサービスでは対応ができない課題の解決を目指す取組です。



ホームページ▶



X (旧Twitter)▶

令和6年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

**保険金額・年間保険料(1名あたり)** 団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン		
		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
地震・噴火・津波による死傷	×	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは  
こちらから



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

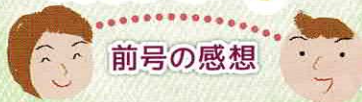
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)



# みんなの声



## 前号の感想

ボランティア活動者が使用するための資機材は、福祉施設と連携がされていて良いと思いました。横浜市は地域防災拠点と連携されていますが、認識を一緒にした取り組みが出来たら良いですね。  
(南区 浅田 稔)

「特集」若い人が集える居場所が、学校以外でもこうしてあると心強く感じました。街の色々なところにあるといいなと思います。  
(戸塚区 なっち)

「ふりーサロン5」で、中高生ボランティアに対し役割を決めず自分で考えて行動する仕組みにしていることは、ボランティアにとっても良い機会になると思います。  
(港北区 U.M)

「特集」生きづらい時代に若い人たちに居場所を作り、生きることに向きになれるように活動している方もまた若い年代の方と知り感動しました。  
(南区 黒木 芳美)

福よこクイズのプレゼントを見ると、作業所で製作されている物がわかります。工房アリアーレの製品も素敵ですね。ネット販売してほしいです。  
(南区 S.T)

「お米一合運動」一人ひとりの優しさが詰まった素晴らしい活動だと感じました。このような活動を応援していきたいと思います。  
(泉区 じゅん)

# 福よこクイズ

ご応募・ご感想  
お待ちしております!

「よこはま障害者共同受注総合センター〇〇〇〇」は、仕事をしたい障害者施設と仕事を依頼したい企業・団体のコーディネートをしています。(ひらがな4文字)

## 今号のプレゼント

### おくすり手帳ケース

手織りのおくすり手帳ケースです。ファスナー付きで通帳や印鑑、バッグインバッグとしても使えます。南区にある生活介護事業所「あいの木ひがしまいた」では、チラシ挟みや箱の組み立てなどの受注作業の他、手織り製品を作っています。横浜市営地下鉄ブルーライン吉野町駅より徒歩8分です。お店で販売しています。気軽にお立ち寄りください。



あいの木  
ひがしまいた  
ネットショップ



デザイン・色はおまかせください

前号210号「福よこクイズ」の答えは、「さくら」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

「みんなの声」に掲載された方を含み、抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。  
締切：令和6年7月31日(水)必着

**応募方法** はがき・FAX・Eメール・応募フォームにて、下の項目をご記入のうえお送りください。

**応募先** 〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
横浜市社協「福よこクイズ」係  
<FAX> 045-201-8385  
<Eメール>  
fukuyoko@yokohamashakyo.jp  
「福よこクイズ」応募フォーム▶



## 項目

- 1) 記事の感想・ご意見
- 2) 福祉よこはまの入手方法
- 3) 福祉よこはまの入手回数
- 4) 「みんなの声」次号掲載時のお名前 (氏名、イニシャルまたはペンネーム)
- 5) クイズの答え
- 6) 氏名(ふりがな)
- 7) 年齢
- 8) 電話番号
- 9) 郵便番号・住所

ご感想のみの方も  
おまちしています。

## 【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

## 編集後記

(特集)「福祉よこはま」は年4回、毎号約5万部を発行しており、約4,700か所への梱包・発送を市内の障害者施設に依頼しています。私たちと共に働くパートナーであり、いつも感謝しております。(福祉の仕事)「お互いがお互いを思いやれる」浦島共同作業所の職員とメンバーの関係性を見て牧子さんは一緒に働く決意をし、また初心にかえる時に思い出そうです。家庭でも地域でも職場でも、心に留めておきたいと思いました。

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



〈発行〉  
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会  
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1  
☎045-201-2090 FAX: 045-201-8385  
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp  
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉  
株式会社 オールスタッフ  
次号▶No.212  
令和6年9月発行予定